

第87回

# 実は隣のスゴイ人



【今回のスゴイ人】

南州園

## こがはらかつえ 小川原加津江さん

曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらおうこのコーナー。前回のスゴイ人、西村久美子さんにご紹介いただいたこの方は「**広大なシバザクラを管理しているスゴイ人**」とのこと。



### 南州園

住所 大隅町月野 1627 番地 1

電話 099-482-1459

開花 3月末～4月末

※開花期間中は無料で自由に見学できます

「シバザクラは雑草に弱く、こまめな草取りが大切なんです。背の高い雑草が生えてくると、覆われて枯れてしまいます」  
花が咲き終わった6月に肥料やたい肥を与えると、次の花を咲かせるまで草取りを続けます。ピンセットをグッと地面に押し込み、根っこから抜いた雑草をバケツへ。  
「お茶の販売で外出することが多く毎日ではできないですが、出かける前に5分でも時間があると草取りをしています」  
楽しみにしているお客様のためにも、難儀とは思わないそう。  
「亡くなった主人も見てください」と思うから、体の続く限り綺麗な花を咲かせていきたい」と  
と明るく話してくれました。



愛用のバケツとピンセットで素早く草取り

今回は、大隅町の南州園でお茶の販売をしながら、シバザクラの管理を23年間続けている、小川原加津江さんに話を伺ってきました。  
「花が咲く季節になると、県内外からお客さんが来てくれて賑やかになります」  
南州園の店舗裏に広がるシバザクラ。開花時期には延べ約800人が訪れるそう。机が並べられ、お茶と手作りのがねが振る舞われます。  
小川原さんが市外のスーパーでお茶の催事販売をしていたとき、偶然見つけたのがシバザクラでした。花の色が気に入りその場で10ポット購入しました。  
「主人も花が好きだったので一緒に買って植えました。最初に買った花を挿し芽で広げたので、一度も買いついてないんです」  
3年前に夫の義一さんが亡くなった後も、お客様が楽しみにしてくれているからと、辞めることなく管理を続けてきました。